

# 看護おきなわ



Vol. 120  
November.2025

どりーむ訪問看護ステーションの皆さん

## CONTENTS

理事会報告	2
次年度継続に関する重要なお知らせ	3
事務局だより	4
特集 地域の医療を支える看護活動と連携	5
新人看護師奮闘記	6
教育課だより Part I	7
教育課だより Part II	8
ナースセンターだより	9
施設紹介：どりーむ訪問看護ステーション	10
地区委員会活動報告	11
医療安全情報レポート	12

### 沖縄県看護協会会員数 (令和7年10月現在)

保健師	268名
助産師	404名
看護師	8,792名
准看護師	237名
合 計	9,701名

公益社団法人 沖縄県看護協会



ホームページ



Youtube

## 理事会報告

### 第3回理事会 令和7年7月12日(土)

#### 〈協議事項〉

1. 理事の主な業務について
2. 個人情報保護方針について
3. 職員就業規程の一部改正及び非常勤職員就業規約の一部改正について
4. 認定看護師教育課程運営規定の一部改正について
5. 認定看護師教育課程運営細則の一部改正について
6. 認定看護師教育課程教員会規程の一部改正について

#### 〈報告事項等〉

1. 令和7年度通常総会の振り返りについて
2. 表彰候補者推薦について
  - 1) 母子保健奨励賞
  - 2) 沖縄県功労者表彰
  - 3) 精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰
  - 4) 公衆衛生事業功労者(日本公衆衛生協会)
3. 会員状況について

### 第4回理事会 令和7年10月18日(土)

#### 〈協議事項〉

1. 令和7年度補正予算について
2. 令和7年度受賞祝賀会・新年会について
3. 公益社団法人沖縄県看護研修センター使用規定の一部改正について

#### 〈報告事項等〉

1. 沖縄県知事等要請(部長要請)について
2. 地区別施設代表者会議について
3. 第40回沖縄県看護研究学会学術集会について

#### 4. 教育計画について

- 1) 認定看護管理者教育課程について
- 2) 認定看護師教育課程について(進捗状況)
- 3) 性暴力被害者のための医療関係者・支援機関等従事者研修
5. 各種表彰候補者推薦について
6. 委員会活動について
  - 1) 委員会のあり方に関する報告について
7. 会員状況について

### 第1回合同会議 令和7年10月18日(土)

#### 議題1 沖縄県看護協会委員会規程とマニュアル等について

- ・令和7年度委員会マニュアルについて
- ・委員会委員の選定について
- ・委員会出席における旅費支払いについて
- ・計画予定外の活動等について

#### 議題2 第1回全国職能委員長会議報告と職能委員会活動の進捗状況について

#### 議題3 令和7年度委員会活動計画の進捗状況について

#### 議題4 令和8年度以降の委員会活動について

## 《2024年11月より順次発送》

### 次年度継続に関する重要なお知らせ

看護協会は退会の届出がない限り、翌年度も自動継続となります。

2025年度会員の方へ、

「2026年度会費(継続)のお知らせ(圧着ハガキ)」が11月より日本看護協会から順次送付されます。

退職・勤務先変更、個人会員でご住所に変更のあった方は必ず変更手続きを行ってください。

会員専用WEBページ「キャリナース」より、会員情報のご確認と変更をお願いします。

(下記のQRコードよりご申請ください)

会員専用ページ

 キャリナース



キャリナースの  
登録方法について



継続のお知らせ  
について



次に該当する方は、以前の勤務先・ご住所へ送付されることがあります。

- ・ 10月17日以降に勤務先・ご住所変更の届出をした方
- ・ 勤務先が変わった(退職した)が届出をしていなかった方

### 「2026年度会費(継続)のお知らせ(圧着ハガキ)」が届いたら

施設のご担当者… 同封の「配付対象者一覧」をご確認のうえ、会員に配付してください。

退職済みの会員様のハガキは、沖縄県看護協会にご返送をお願いいたします。

**【重要なお願い】会員の退職時には、会員情報変更の呼びかけをお願いいたします。**

ご自宅にハガキが届いた会員様…ハガキを受け取られましたら、ご自身の名前を確認のうえハガキを開き、内容をご確認頂き、お支払い等必要なお手続きをお願いします。

**※施設登録のない方で勤務先のある会員様は、所属施設のご登録をお願いいたします。**

### 「2026年度会費(継続)のお知らせ(圧着ハガキ)」が届かない

- ・ 2025年度会費が未納の方
- ・ 施設会員であるが、郵送物をご自宅に設定されている方

その他、キャリナースの登録・申請方法や会員情報に関してご不明な点がございましたら、下記の担当までお問い合わせください。

#### 【お問い合わせ】

沖縄県看護協会 総務課

会員担当 下地

Tel:098-888-3155 / Fax:098-888-3126

E-mail:shimoji.n@oki-kango.or.jp



## 事務局だより

## 部長要請を行いました

令和7年8月26日、令和8年度の看護関連の施策及び予算編成に関する要望書を提出しました。

要請内容については、以下をご覧ください。

## 要望事項

- 1 沖縄県における助産師の就業状況実態調査の実施について
- 2 離島及びへき地の訪問看護提供体制強化・育成事業の拡充について
- 3 専門力向上に資する教育に係る財源確保について
- 4 訪問看護ステーションの第三者評価制度の導入に向けた制度整備について
- 5 看護DXの導入による看護業務の効率化・負担軽減のための体制整備について
- 6 離島（八重山地区）における看護人材確保について
- 7 災害支援ナース育成・登録及び派遣に備えた支援について



## 「第40回 沖縄県看護研究学会学術集会」開催のお知らせ

下記のとおり、第40回沖縄県看護研究学会学術集会が開催されます。

会員の皆さんにおかれましては、ぜひご参加ください。

- ・日 時：令和8年2月14日（土）10:00～16:30
- ・会 場：沖縄県看護研修センター・沖縄小児保健センター
- ・開催方法：ハイブリッド開催
- ・テ マ：多様化する医療ニーズに応える看護の視点
- ・申込方法：沖縄県看護協会>学会ページをご確認ください。

(<https://www.oki-kango.or.jp/>)



## 「健康づくり実践会」開催のお知らせ

- ・日時：2025年11月27日（木）14:00～16:00
- ・場所：沖縄県看護研修センター
- ・対象：看護協会会員
- ・定員：30名（遠隔地のみライブ配信あり）
- ・申込：2025年9月15日～定員に達し次第締切

↓お申込・詳細は  
こちら



会員の皆さんのお申し込みをお待ちしています。



## 特集 地域の医療を支える看護活動と連携

# 多職種とともにみんなで広げるお~きな輪 ていんさぐの会 活動報告

沖縄小児在宅医療基金 ていんさぐの会  
会長 富名腰 義裕

### 1. 医療機器無料貸出

人工呼吸器をつけた重度の子どもも自宅で過ごせるはずだ、させたいという親の思いと医療者の思いが一つになり一台の人工呼吸器が送られました。

それを機に在宅で過ごす難病や重度の障害を持つ子どもたちが社会の一員として「輝きながら今を生きる」ことを支援するため平成5年に“小児在宅人工呼吸器療法基金ていんさぐの会”が設立されました。多くの方々に寄付を募って人工呼吸器を購入し、必要な子どもへ無償貸出することが会の活動の中心でした。

その後少しづつ医療制度が整い人工呼吸器の貸出の必要はなくなりましたが、在宅医療に必要不可欠な痰の吸引器やパルスオキシメーターの需要は続きました。

人工呼吸器療法だけでなく在宅医療を受けている子どもたちは多くの困難を抱えていることから平成12年に会の名称を“沖縄小児在宅医療基金ていんさぐの会”と改め広く支援を行なう体制になりました。

会員は100名余ですが、実に様々な職種の方々が集っています。何より当事者家族の方も多く「みんなで」支援していく団体です。

### 2. がんばれ共和国 in お~きな輪

夏の海水浴を楽しむサマーキャンプが会の大きなイベントです。家族だけでは遠出や泊りがけのお出かけが難しい子どもたちやその家族に思い切り楽しんでもらおうと日帰りの海水浴から始めました。その後「難病のこども支援全国ネットワーク」の支援を受けて2泊3日のサマーキャンプを開催するようになりました。このキャンプのモットーは「友だちつくろう」でキャンパー（当事者）もボランティアも一緒に楽しむことが目的です。



### 3. こども在宅研究会、ボランティア養成講座

会員はもちろん学生や一般の方に難病や重度の障害を持った方のことを知っていただくこと、支援する方の知識や技量を高めてもらうことも活動の柱です。

1年に1~2回のボランティア養成講座を開催しています。また、身近な問題をテーマに毎月こども在宅研究会を開催しています。最近はオンライン開催を行ない、遠方の方にも多く参加していただいている。

### 4. ハブ機能

会は医療福祉制度の隙間を埋める活動を続けてきました。多職種の方が集っている会ですが、自前でできることには限界があります。私たちは子どものために医療、福祉、教育など様々な方々を結ぶハブ（連携の拠点）の役目を担えるようさらにネットワークを広げていきたいと考えています。



# 新人看護師 奮闘記 //

## 新人看護師 奮闘記 //

その①

社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院

西嶋 美月



今年4月から看護師という職業に就き、脳神経外科病棟に配属されてから5ヶ月目になりました。最初は学生の時とは違う複数人受け持ちや、事務作業、点滴作成など多すぎる業務に緊張と不安の毎日でした。特に時間管理ができず、点滴や処置、記録に追われ患者と関わる時間が短かったです。また、一人で出来ることが殆どなく、何かを行うたびに先輩に指導していただくことに申し訳なさを感じていました。しかし、部署の先輩方がいつも丁寧にわかりやすく指導してくださる事で、今では自立して行えることが増え、時間はかかりますが業務をこなせるようになってきました。すぐに相談しに行ける環境のおかげで安心して業務を行えています。

脳神経外科の患者は、意識障害や構音障害などによりコミュニケーションが困難な方もおられます。そのため、言語的コミュニケーションだけではなく仕草や表情、視線などの非言語的コミュニケーションから訴えを読み取ることに最初は苦戦しました。ですが、視線の先にある物やベッドサイドにあるものを觀察し、予測して「これですか?」と聞き、常に行動の理由を考えながら関わるようしていくことで、少しずつではありますが患者さんの訴えが理解できるようになってきました。

まだまだ未熟で先輩方に助けていただきながらですが日々の学びを大切にし、患者やご家族が安心して治療を受けられるように、サポートできる看護師を目指し努力していきます。

## 新人看護師 奮闘記 //

その②

沖縄県中部保健所  
地域保健班 松堂 渚

保健師として就職してから5か月が経ちました。入職当初は右も左もわからず、不安に感じることも多々ありました。先輩保健師からの声掛けや相談しやすい環境のおかげで、少しずつ業務にも慣れてきました。

日々業務をこなす中で、保健師としての役割や支援方針について悩むことがあります。そんな中、やりがいを感じた瞬間は、相談者から「話してよかったです。ありがとう。」という言葉をいただいた時です。地域には、周りに相談できる人がおらず、どこに相談したらよいかもわからないため、悩みや不安を抱え込んでいる方々がいます。私はその人たちと一緒に悩み、思いに共感しながらこれからることを一緒に考えることで、その人の持つ悩みをほんの少しでも軽くすることができたのではないかと感じました。

まだ働き始めたばかりで、できることも限られています。また、保健師としての知識や経験が不足していることを実感する日々ですが、ケース支援の方向性や保健師としての役割について、一人で悩まず、先輩方や同期への相談、他職種との連携の中で学んだことを通して少しずつできることを増やしていきたいです。そして、保健師として地域の方々に丁寧に向き合いながら、沖縄県の健康増進のために頑張っていきたいと思います。

## 新人看護師 奮闘記 //

その③

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院  
手術室 宮城 優

手術室に配属されて5ヶ月が経ちました。学校では習ったことのない器械の名前を覚え、理解することにとても苦戦しています。

ハートライフ病院では入職してから半年間、器械出しを中心に勉強をします。その器械出しの場面で、先生が求めているものをすぐに渡すことができず、悔しい思いをしたこともあります。その時は手術後に器械を並べて確認したり先輩に質問したりし、少しずつ理解できるようになってきました。先生から指摘がなく、手術が円滑に進むと「やったぞ!」と思える瞬間が増えてきています。

慣れない環境で、覚えることも多く失敗し落ち込むこともあります。その時は同期に話を聞いてもらい「自分だけじゃない」と思えることで、前向きに考えられるようになりました。できるようになったこと、不安に思っていることを同期と共有することが今の私の元気につながっています。

まだまだ分からることばかりですが、同期と先輩に支えられ、失敗も学びに変え日々成長していくように努力していきたいと思います。

## 教育課だより part I

## 新人看護職員多施設合同研修

今年度も中小規模病院で働く新人看護師を対象とした「新人看護職員多施設合同研修」を4日間実施しました。今年は、昨年の研修後の評価を反映させ、転倒転落防止や吸引技術、導尿技術を教育内容に追加しました。受講生からは、「フォーリーカテーテル挿入の機会がなく不安であったが、手順を守り、尿路感染しないよう実施したい。」「摂食嚥下の基礎知識については精神科のリスクマネジメントの視点に役に立つ」「採血、注射、輸液ポンプ操作など、知識の再確認ができ、現場に戻った時自信を持って援助することができると思う。」など前向きな声が聞かれた。一方、「講師のデモストレーションだけでなく、個別演習も実施してほしい」という要望があり、研修内容を見直し次年度に繋げていきたい。

## 新人看護職員多施設合同研修の研修風景



## 教育課だより part II

## 看護補助者標準研修（看護補助体制充実加算該当パッケージ）研修

看護補助者標準研修（看護補助体制充実加算該当パッケージ）研修は、令和7年度新規研修の1つです。日本看護協会が作成したオンデマンド研修を用いた研修と本会主催の集合研修の実施を組み合わせた研修となります。第1回目は8施設から20名の看護補助者が受講しました。受講者からは、「患者体験をすることにより患者さんに寄り添ったケアに繋がると思いました。」「他施設との交流でたくさんの学びがあった。」などの声が寄せられています。研修の風景と受講者および演習支援者の声を紹介します。

## 研修の風景



体位変換



食事介助



寝衣交換



移動



医療法人はごろも会  
那霸ゆい病院  
看護補助者 川満 真大

研修前は、日常の業務で実践できるか不安がありました。参加して印象的だったのは食事介助の実演で、実際にアチビー食を食べて「おいしくない」と感じたことです。そこから、無理に口へ運ぶのではなく、いかに患者の気持ちになる事が大切かという事を学びました。また、それが患者に寄り添う事だという大切な視点を得られました。今後はケアだけでなくリハビリや医療の視点も学びたいと思います。集合研修は、知識だけでなく他施設とのつながりも広がり、情報共有の場としても有意義でした。ぜひ多くの仲間に参加を勧めたいです。



社会医療法人 敬愛会  
中頭病院  
副看護部長 宜保 真由美

今年度初めて開催した看護補助者標準研修の講師として意識したことは「基本的ケアを振り返り根拠を伝えること」「相手が理解しやすい言葉で伝えること」「各施設の考え方を確認しながら意味づけすること」です。はじめは緊張した表情をしていた受講生も、時間が経る毎に、意見が活発となり、互いに刺激をうけながら理解を深める事ができたと思います。今後もこのような取り組みが継続され、看護補助者と看護師がさらに力を合わせ、より良い医療・看護ケアの提供へ繋がっていくことを期待しています。

## ナースセンターだより

第83号

## 令和7年度「看護への道」合同進路相談会を開催しました。

沖縄県立看護大学  
沖縄看護専門学校名桜大学  
ぐしかわ看護専門学校琉球大学  
那覇看護専門学校浦添看護学校  
北部看護学校

県内の看護系大学3校・養成校5校が一堂に集まり、各校の特徴を説明しました。また、職能委員による活躍の場や仕事内容の紹介、沖縄県の奨学金の相談など、看護への道に向けた進学案内を行いました。

## 参加した高校生の声

看護の仕事のイメージ(上位3位)  
1位:やりがいがあると思う  
2位:社会に役立つ仕事だと思う  
3位:国家資格の仕事

参加者は高校生55名(25校)、中学生1名、社会人2名、進路担当教諭3名、保護者22名の合計83名

参加後は全員が、「とても参考になった」又は「参考になった」と回答。「看護への道に進みたい気持ちが強くなった」、「志望校が見つかった」などの声がありました。

沖縄県ナースセンターによる  
「看護補助者の求人就職の取り扱い」を開始します

病院の看護チームの一員として活躍する看護補助者の確保を支援するため、

- ・看護補助者の無料職業紹介
- ・就業に向けたオンデマンド研修を開始します。

開始に先立ち、ハローワークと連携した

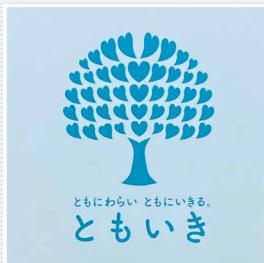
・「看護補助者の仕事説明セミナー」も開催しています。

令和7年11月  
開始予定

## 施設紹介

## 株式会社どりーむ どりーむ訪問看護ステーション

看護おきなわ120号の表紙は、中部地区にあるどりーむ訪問看護ステーションの職員を掲載しました。訪問看護ステーションの「ロゴの由来」と「訪問看護ステーションの特徴・強み」について紹介します。



## 〈ロゴの由来〉

このロゴは、沖縄で「精霊が宿る木」「幸せを呼ぶ木」として親しまれているがじゅまるの木がモチーフ。地域を見守りながら力強く成長する姿を、ともいきグループが地域と共に歩み、未来へ希望をつなぐ姿勢に重ねています。ハート型の葉は「幸せ」と「絆」の広がりを表しています。

## 〈どりーむ訪問看護ステーションの特徴・強み〉

- ◆地域に根ざした信頼と実績: 金武町で初めての訪問看護事業所として2012年に開設。以来、地域に密着し「ともに生きる」を理念に活動しています。
- ◆在宅療養の可能性を広げる挑戦地域勉強会、看護学校での講義、実習生受け入れなどを通じて、訪問看護の大切さを広めてきました。
- ◆現場の声から生まれた柔軟なケア体制在宅療養の可能性を実感する一方で、医療的ケアや介護負担の大きさから在宅生活を断念せざるを得ない家族の姿も見てきました。その課題に応えるため、2021年に「ナーシングホームともいき」を開所。訪問・通い・泊まりを組み合わせた個別性の高い支援を実現しました。
- ◆幅広い世代・ニーズへの対応医療的ケア児とご家族を支えるため、金武町と連携し保育園や小学校での訪問看護を実施。さらに2024年には「特別養護老人ホームかふう」を開所し、子どもから高齢者まで切れ目のないケアに尽力しています。
- ◆チーム力と専門性現在、看護職員は13名。訪問看護、ナーシングホーム、特別養護老人ホームの3拠点で力を合わせ、地域の多様なニーズに応えています。



## 【私たちの願い】

「困った時は、ともいきグループに相談しよう」

そう思っていただける存在であり続け、

誰もが安心して暮らせる地域社会をつくっていきます。

## 南部地区委員会 活動と取り組み

委員長 外間 こずえ

南部地区委員会の委員数は10名で構成しています。コロナ禍で中止していた「まちの保健室」事業が2024年5月から再開され、週1回糸満郵便局で健康相談・骨密度測定などを行ってきました。5月は看護フェア、8月には南風原キッズパーク（お仕事体験）へ参加しました。キッズパークでは、自分で作ったナースキャップを嬉しそうに被り白衣に着替え、模型を使った赤ちゃんのオムツ交換を体験してもらいました。キラキラした目で取り組む子ども達の姿に、委員会のメンバーも、穏やかな目で見守りながら参加することができました。11月にもお仕事体験への参加を予定しています。2050年問題は、看護の現場でも大きな課題とされていますが、一人でも多くの看護師が生まれることを願い看護の魅力を伝えていく活動を行っていきたいと思います。



## 中部地区委員会 活動と取り組み

委員長 浜里 まゆみ

中部地区委員会は、急性期から在宅、精神科領域まで幅広く活動する委員で構成されています。今年度は「1日まちの保健室」や「看護の出前授業」「看看連携交流会」などを計画しました。保健室活動では、うるま市消防の救急フェアに参加し、看護協会ブースで健康相談や骨密度測定を実施しました。50名近い市民が訪れ健康意識の高さを実感しました。出前授業では県立中部商業高校生涯スポーツ科の生徒を対象に、バイタル測定・注射・BLS・手洗いチェックの4コーナーを体験してもらい、看護の仕事を楽しく学ぶ機会となりました。今後も地域の皆さまの健康と看護の理解促進に努めてまいります。

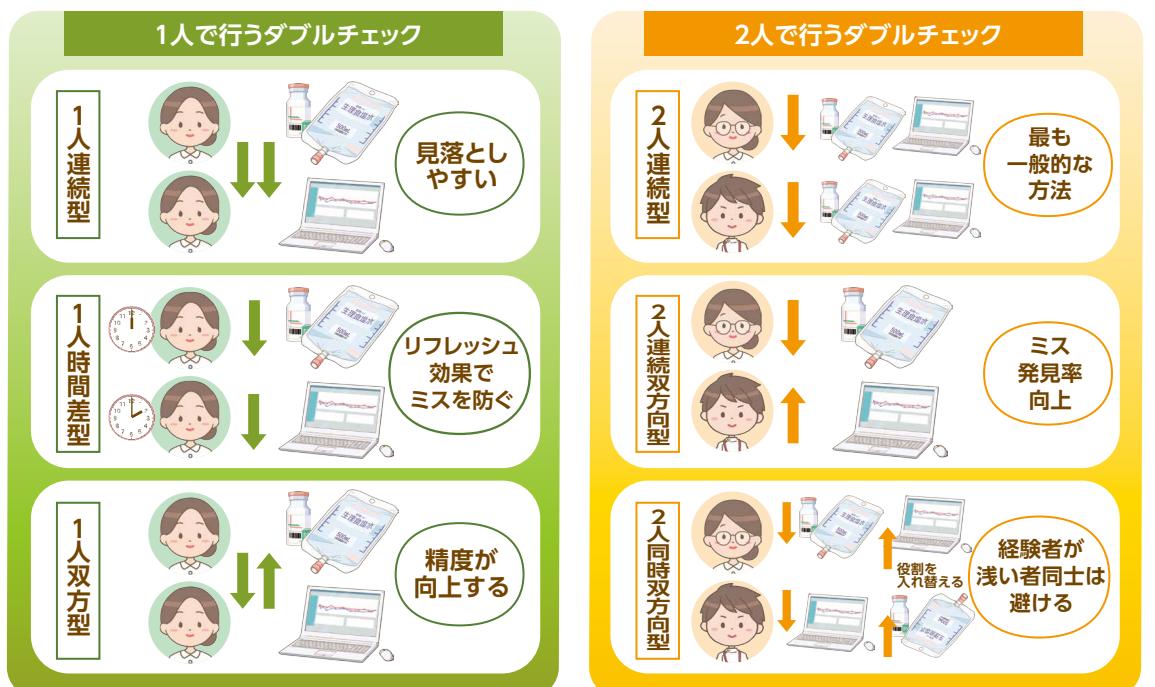


## 第30号 医療安全情報レポート

「ダブルチェックと医療安全」  
～ダブルチェック体制 再確認してみませんか?～

看護師は、薬剤確認などの多くの場面でダブルチェックを実施しています。

しかしダブルチェックのやり方によっては、安全性が確保されず、形骸化した業務を遂行するだけで効果的ではありません。自施設はどの方法を用いていますか。今一度、確認してみましょう。



## 【その他】

タイプ別	方法	特徴
トリプルチェック	3人で1回ずつ確認	* <sup>1</sup> リングルマン効果に注意
クロスチェック	異なる視点・手法で確認	時間かかる、視点を変え精度を向上

\*<sup>1</sup>リングルマン効果：フランスのマクシミリアン・リングルマンによって提唱された理論であり、集団で共同作業を行う際に起きる「社会的手抜き」のことを指します。具体的には、1人で作業をする場合と比べて、共同で作業を行う人数が増えると、1人あたりの生産性が低下してしまうという内容です。

## 【医療事故情報収集事業】第72・73回報告書分析テーマ「ダブルチェックに関連した事例について」より

## Point(一部抜粋)

- [第72回]**
- ダブルチェックを行うことになっている場面で、決められた方法で正しく行うことが重要である。
  - 確認とは、基本となる正しい情報、対象となるものを比較、照合することである。
  - 社会的手抜きが生じやすくなる状況であることを認識しておく必要がある。
  - 業務しながら、遠くからまたは斜めから覗き見るだけでは確認にならないことを認識する。

- [第73回]**
- 職員一人一人が、医療機関で決められた業務工程で実施することが重要である。
  - 医療機関内で、チェック者不在時の対応や、実行不可能なダブルチェックのタイミングを再考し、廃止することも含めて検討するとよい。
  - 無理に2名のスタッフを確保するよりも、まずは1名でも確実に実施することが重要である。
  - ダブルチェックする薬剤を院内で取り決め周知する（該当薬剤一覧を作成するなど）

参考：公益財団法人日本医療機能評価機構|医療事故情報収集等事業-分析テーマ

## 編集後記

暑い沖縄でも過ごしやすい季節に入りました。朝の気温に、「長袖か、でも日中は暑いし…」と毎日タンスの前で悩む季節です。皆さんはいかがでしょうか。今号では、新人の様子や現場の取り組みを掲載しました。読みながら「そうそう、うちも同じ」とうなづいてくれたら幸いです。季節の変わり目は、体調を崩しやすい時期もあります。どうぞ、皆様ご自愛いただきながら、これからも現場での実践を大事にしていきましょう。

